

## ④経営改善の概要

### 1. 令和7年度の取組

専門性の高い経営分析に加え、医療・経営現場への直接介入を通じた質の高いスピーディーな経営改善の実行支援を受けるため、経営コンサルティング業務委託を導入

■委託先：(株)日本経営（7年6月～）

#### (1) 分析力の向上

##### ①原価計算による診療科別損益状況の可視化

⇒診療科毎の損益状況の可視化により、全診療科において外来は赤字であることから、経営改善に向けては入院患者数及び単価の増による入院収益の確保の必要性が明確となった。

##### ②症例別の損益状況の可視化

⇒各診療科の主要症例について、収益と医療資源投入コストの収支差を分析し、検査・注射・画像等の医療資源投入量を同規模・同機能病院と比較することで、赤字要因の把握と改善ポイントが明確となった。

##### ③医師1人当たりの生産性の可視化

⇒各診療科の医師1人当たり患者数及び収益を同規模・同機能病院と比較することで、生産性の違いが可視化され、診療科別の目標設定と改善の方向性が明確となった。

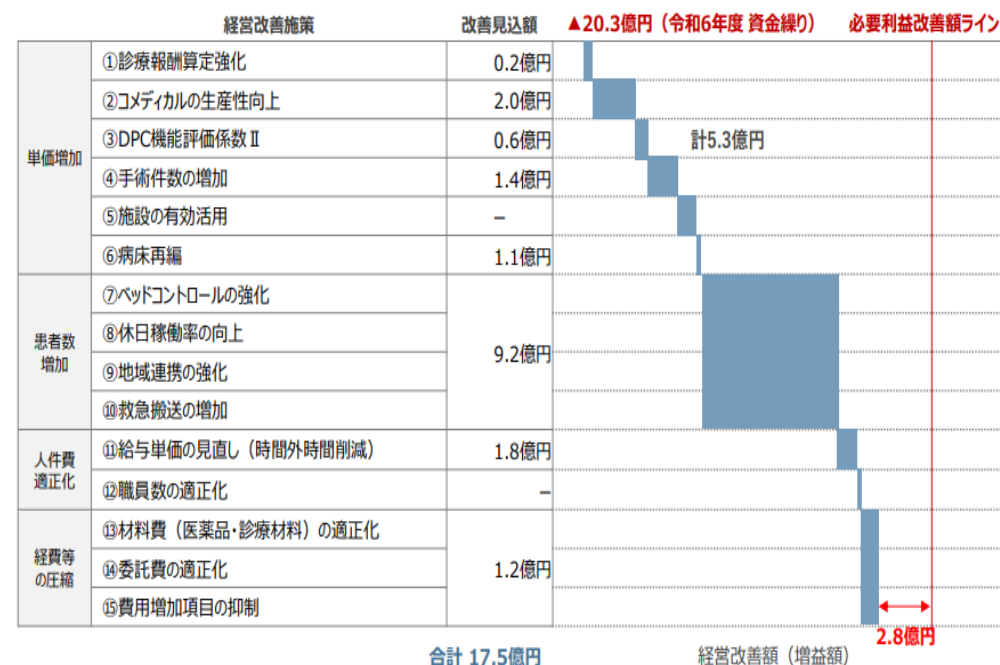
#### (2) 今後の経営改善施策の作成

【内容】病院事業の基本計画である経営計画を着実に推進するため、各診療科・部門が9年度までに取り組むべき具体的手順を定めたもの

【目標】第1目標：資金繰りの黒字化（必要利益改善額：約20億円）

第2目標：経常利益の黒字化（必要利益改善額：約26億円）

【経営改善施策と想定改善額の積み上げ】



### 2. 令和8年度の取組

■ベッドコントロール強化の運用拡大

（7年度：1病棟における試行⇒他病棟へ展開）

■地域医療連携の強化

- ・データに基づく戦略的な医療機関訪問
- ・病院向けアンケート及び訪問ヒアリングによる課題把握及び院内共有

■経営層による目標管理（病院全体、各診療科・部門別）

■院内ワーキンググループによる各施策の推進